

サイト仕様書：稟議通知管理（SiteId: 319021）

- 取得元データ: [site-319021_latest.json](#)
- 取得日時: 2025-03-02T19:15:06（サイト更新日時）／設定バージョン **Ver: 1**

1. サイト基本情報

項目	値
TenantId	1
Title	稟議通知管理
ReferenceType	Results
ParentId	319018（本ドキュメント群で対象としている10サイトには含まれない。上位の格納用サイト／フォルダと推測される。site-319020「稟議項目」と同一のParentId）
InheritPermission	319021（自サイト自身のIDのため、権限を親から継承せず自サイトで独自設定）
Publish	false（外部公開なし）
DisableCrossSearch	false
Creator / Updator	460 / 460（同一ユーザー）
CreatedTime	2025-03-02T19:15:06
SiteSettings.Version	1.017

2. アクセス権限（Permissions）

種別	対象ID	権限レベル
Dept	1	5
Group	13	5
Group	19	511
User	460	511

※ 権限値はビットフラグの加算方式のため、正確な意味は環境のロール定義に依存する。

3. 画面構成

3.1 一覧画面（GridColumnns）

順番	列名（内部名）	表示ラベル
1	ResultId	ID（標準ラベルのまま）
2	ClassA	エリア
3	Class071	役員
4	Class072	経理担当
5	Class073	工務担当
6	Class074	アフター担当
7	Class075	アシスタント
8	Class076	ISO担当
9	UpdatedTime	更新日時（標準ラベルのまま）

参考: GridView: 1、GridEditorType: 10、AllowViewReset: false（追加のビュー定義）。Views 配列には既定ビュー（Id:1、ソート順 ResultId 昇順）のみが定義されている。

3.2 編集画面レイアウト（EditorColumnHash / Sections）

EditorColumnHash は General タブのみで構成されている（Sections 配列の定義なし）。

順番	項目名（内部名）	ラベル名
1	ResultId	ID（標準ラベルのまま）
2	Ver	Ver.（標準ラベルのまま）
3	ClassA	エリア
4	Class071	役員
5	Class072	経理担当
6	Class073	工務担当
7	Class074	アフター担当
8	Class075	アシスタント
9	Class076	ISO担当

Sections 配列自体が定義されていないため、セクション区切り（_Section-N）は存在しない。

3.3 タイトル表示（TitleColumns / TitleSeparator）

- TitleColumns: 未設定（Pleasanter既定の Title 列を使用する想定）
- TitleSeparator: 未設定（既定の区切り文字）

`TitleColumns` が明示的に設定されていない一方、標準の `Title` 列自体が `GridColumns` にも `EditorColumnHash` にも含まれておらず、ユーザーが値を入力する経路がない。そのためレコードのタイトルは常に空欄のまま運用されている可能性が高い（詳細は「気になる点」参照）。

4. 項目定義（Columns）

列名（内部）	種別	表示ラベル	説明・入力ガイド	備考
ClassA	文字列 （分類・選択式）	エリア	選択肢： 0, 東京 1, 愛知 2, 千葉 3, 熊本 4, 静岡 5, 特建事業部 6, 不動産事業部 7, デザイン 9, その他 （ <code>ChoicesControlType: Radio</code> によりラジオボタン表示）	<code>ValidateRequired: true</code> （必須）、 <code>NoDuplication: true</code> （同一値の重複登録不可＝1エリアにつき1レコードのみ登録可能という制約と推測）、 <code>SearchType: PartialMatch</code> （部分一致検索対応）
Class071	文字列 （拡張分類）※実運用は複数選択のユーザー選択欄	役員	<code>ChoicesText: "[[Users*]]"</code> によりテナント内の全ユーザーが選択肢候補になる特殊指定。 <code>UseSearch: true</code> で検索ボックス付き、 <code>MultipleSelections: true</code> で複数人選択可	<code>FieldCss: field-wide</code> （編集画面で入力欄を横幅広く表示）
Class072	文字列 （拡張分類）※実運用は複数選択のユーザー選択欄	経理担当	同上（ <code>[[Users*]]</code> によるユーザー選択、検索可、複数選択可）	<code>FieldCss: field-wide</code>
Class073	文字列 （拡張分類）※実運用は複数選択のユーザー選択欄	工務担当	同上	<code>FieldCss: field-wide</code>
Class074	文字列 （拡張分類）※実運用は複数選択の	アフター担当	同上	<code>FieldCss: field-wide</code>

列名（内部）	種別	表示ラベル	説明・入力ガイド	備考
	ユーザー選択欄			
Class075	文字列（拡張分類）※実運用は複数選択のユーザー選択欄	アシスタント	同上	FieldCss: field-wide
Class076	文字列（拡張分類）※実運用は複数選択のユーザー選択欄	ISO担当	同上	FieldCss: field-wide

ClassA, Class071～Class076 以外に EditorColumnHash へ登場する ResultId, Ver は Columns 配列に個別定義がなく、標準ラベル・標準設定のまま使用されている。

4.1 項目ごとの補足HTML（ExtendedHtmlAfterControl）

該当する設定はない（省略）。

5. 作成・更新権限（フィールド単位）

列名（内部）	PermissionForCreating	PermissionForUpdating
Class071	5	5
Class072	5	5
Class073	5	5
Class074	5	5
Class075	5	5
Class076	5	5

ClassA にはフィールド単位の作成・更新権限（PermissionForCreating / PermissionForUpdating）は設定されていない。

これとは別に、`UpdateColumnAccessControls` により `ClassA` 列単体の更新可能グループが `Group 19` のみに制限されている。

ColumnName	更新を許可するGroups
ClassA	19

※ `Permissions` セクションでは `User, 460` (Creator) や `Group, 19` が高い権限レベル (511) を持つが、`ClassA` に限っては `UpdateColumnAccessControls` の制限が別途優先される可能性があるため、実運用上の挙動は要確認 (後述「気になる点」参照)。

6. 集計設定 (Aggregations)

設定なし (該当セクションなし)。

7. 他サイト連携 (Links / ルックアップ)

このサイト自身の `SiteSettings` には `Links` の定義はなく、他サイトへの参照設定 (自サイトから他サイトへのコピー・ルックアップ) は持たない。また `manifest.json` の `ServerScripts: []` (0件) により、サーバースクリプト経由の暗黙的なテーブル参照 (`items.Get(SiteId)` 等のハードコード) も存在しない。

一方、他サイトの調査時点で確認できた範囲では、本サイト (319021: 稟議通知管理) は以下のサイトの **クライアントスクリプトから直接参照されている** (本サイト側の設定ではなく、参照元サイト側のScript内でSiteIdがハードコードされている「暗黙的なテーブル参照」)。

参照元サイト	参照箇所	参照方法
319015 (新・稟議申請書)	<code>configs/site-319015_新・稟議申請書/scripts/1_1.新・稟議申請書.js</code> 内 <code>getTuuchiData()</code> 関数	<code>let siteId = '319021';</code> とSiteIdをハードコードし、選択された <code>エリア</code> (参照元の <code>ClassB</code>) を条件に <code>\$p.apiGet</code> でAPI検索。取得したレコードから通知先 (役員・経理担当・工務担当・アフター担当・アシスタント・ISO担当) を取得していると推測される

これにより、本サイトは「エリアごとの稟議関係者 (通知先) を保持するマスタテーブル」として、稟議申請フロー側から都度参照される役割を持つと考えられる。`ClassA` (エリア) に `NoDuplication: true` が設定されているのも、1エリア=1レコードというマスタとしての一意性を担保するためと考えると整合する。

`ParentId: 319018` は今回のドキュメント化対象10サイトに含まれておらず、319020 (稟議項目) と同一の親サイトを持つ。全体関連図の作成時に別途確認が必要。

8. プロセス設定 (Processes)

設定なし (`configs/site-319021_稟議通知管理/processes.json` も0件、 `manifest.json` の `ProcessesCount: 0` で確認済み)。

9. スタイル (Styles)

設定なし (`manifest.json` の `Styles: []` で確認済み)。

10. スクリプト (Scripts) / サーバースクリプト (ServerScripts)

設定なし (`manifest.json` の `Scripts: []` / `ServerScripts: []` で確認済み)。

11. その他設定

項目	値
NoDisplayIfReadOnly	false
HideLink	未設定
SectionLatestId	未設定 (Sections自体が未定義)
各種ガイド文 (GridGuide/EditorGuide/CalendarGuide等)	いずれも空文字 (未設定)
Comments	サイト直下の <code>Comments</code> は <code>[]</code> (コメント記録なし)。編集画面 (<code>EditorColumnHash</code>) には <code>Comments</code> 列がレイアウトされていないため、標準タブ経由以外ではコメント機能を使う導線がない可能性がある

気になる点 (レビュー観点)

- `TitleColumns` が未設定な上、標準の `Title` 列自体が `GridColumns` / `EditorColumnHash` のいずれにも含まれていないため、レコードタイトルが常に空欄になっている可能性が高い。一覧画面や他サイトからの参照時にレコードを識別しづらくなっていないか確認が望ましい。
- `ClassA` (エリア) の選択肢は `0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 9` と番号が飛んでおり (`8` が欠番)、意図的な欠番か設定漏れか不明。将来的にエリアを追加する際の選択肢追加漏れにも注意が必要。
- `ClassA` は `NoDuplication: true` によりエリアごとに1レコードのみ登録可能な想定だが、`UpdateColumnAccessControls` で更新可能グループが `Group 19` のみに制限されており、

Permissions 上は高権限（511）を持つ **User 460**（Creator）や他のGroupがこの列を更新できない可能性がある。意図した制限か確認が望ましい。

- **Class071** ～ **Class076**（役員／経理担当／工務担当／アフター担当／アシスタント／ISO担当）はいずれも **[[Users*]]** でテナント内の全ユーザーが選択肢になっており、部署やエリアによる絞り込みがない。**UseSearch: true** で検索は可能だが、ユーザー数が多い場合は選びにくくなる可能性がある。
- 本サイトは319015（新・稟議申請書）のクライアントスクリプトからSiteld **319021** がハードコードされて参照されている（正式な **Links** 設定には現れない）。本サイトの列構成・ラベルを変更する際は319015側のスクリプトに影響が及ぶため注意が必要。
- 入力ガイド文（EditorGuide等）が一切設定されておらず、入力者向けの説明が画面上に表示されない。エリアごとの担当者登録という重要なマスタメンテナンス作業であるにもかかわらず、操作ガイドがない点は運用上のリスクになり得る。